

ハイグレードタイプにおいて熱貫流率0・89W(ワット)／㎡・K(カロリー)という国内最高クラスの断熱性能を実現。上枠と縦枠に熱を伝えにくい樹脂を使用し、ホロー内に断熱材を入れることで熱が逃げにくい構造を採用。下枠はアルミ形材を室外側と室内側に分離させ、樹脂部材で接合することで熱の移動を遮断する「サーマルブレイク構造」を取り入れた。パネルには一般的な断熱



グラन्दル2

ドアの厚さの1・5倍となるドア厚60mmの高性能パネルを採用。ガラスは室外側と室内側のガラス2枚をLOW-Eガラスで構成したトリプルガラス。ガラスの中空層には空気に比べ熱の伝わりを30%抑えるアルゴンガスを封入。ガラスエッジからの熱伝導率を抑える樹脂スペーサーにより断熱性を向上させている。

ドアのデザインは24種類、17カラーから選択。デザインは無垢の大板を張り付けたような重厚感を演出したものと木材を鏝張りにしたデザインなどラインアップを拡充。カラーは、多彩な木目カラーを中心に構成した。木目調のカラーでは「浮造り調」も用意。木の年輪を浮き立たせる日本の伝統技法を再現することで肌に触れた時の心地よさを追求。色あせや熱反りに強い表面材(遮熱鋼板)の使用により優れたメンテナンス性を実現した。

断熱性能は地域によってハイグレード仕様(熱貫流率0・89)〜1・23W/㎡・K)とスタンダード仕様(熱貫流率1・28)〜1・59W/㎡・K)の2種類。サイズは片開きが幅939mm、親子入隅が幅1138mm、親子が幅1240mm、両開きが幅1692mm、高さは全シリーズ2330mmの設定。設計価格は片開きでハイグレード仕様70万円から76万円、スタンダード仕様で35万5000円から58万4000円となっている。

組織

日本輸入木工機械協会

新会長に長井浩司氏を選出

新役員による体制が確立

日本輸入木工機械協会(JWTA)は11月18日、第52回通常総会を開催。総会において役員改選があり、新会長に長井浩司氏(有ホルツテクニカナゴヤ代表取締役)が就任した。会

長就任挨拶にて長井新会長は「役員一同、木材産業、木材加工機械産業の成長、発展に全力で努力する所存です。何卒、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜われますようお願い申し上げます」と述べた。

今後、同会は新役員の下、木工機械の流通促進、海外木工機械の情報発信と普及啓蒙、会員企業の対外的

- な認知度向上や海外研修などの諸策を推進。優秀な機能を有する各種木工機械の更なる市場拡大に努め、国内木工事業所における労働環境の合理化を図る。新役員は次の通り(カッコ内は企業役職、敬称略)。
- ◆会長…長井浩司(有ホルツテクニカナゴヤ代表取締役)
 - ◆副会長…牛場正人(株鈴工常務取締役)
 - ◆監事…安居実(ホマツグジャパン(株)代表取締役)、和田明(ウエスタイン大阪(株)代表取締役)
 - ◆事務局長…安田明義(株ウッドミツク代表取締役)

業界サーチ